

集団健診で行う5歳児健診

～課題や困っていることを中心に～

富田林市健康づくり推進課 保健師 秦野





実施状況

令和6年度の対象者

約 750名

実施回数

18回

1回当たりの対象者

40～45名

1回当たりの受診者

17～49名



受診率・健診後の支援

受診率

86%(参考 3歳6か月児健診95%)

未受診者は再通知・所属確認を実施

要経過観察となった方

約200名 31%

精神面での要経過観察

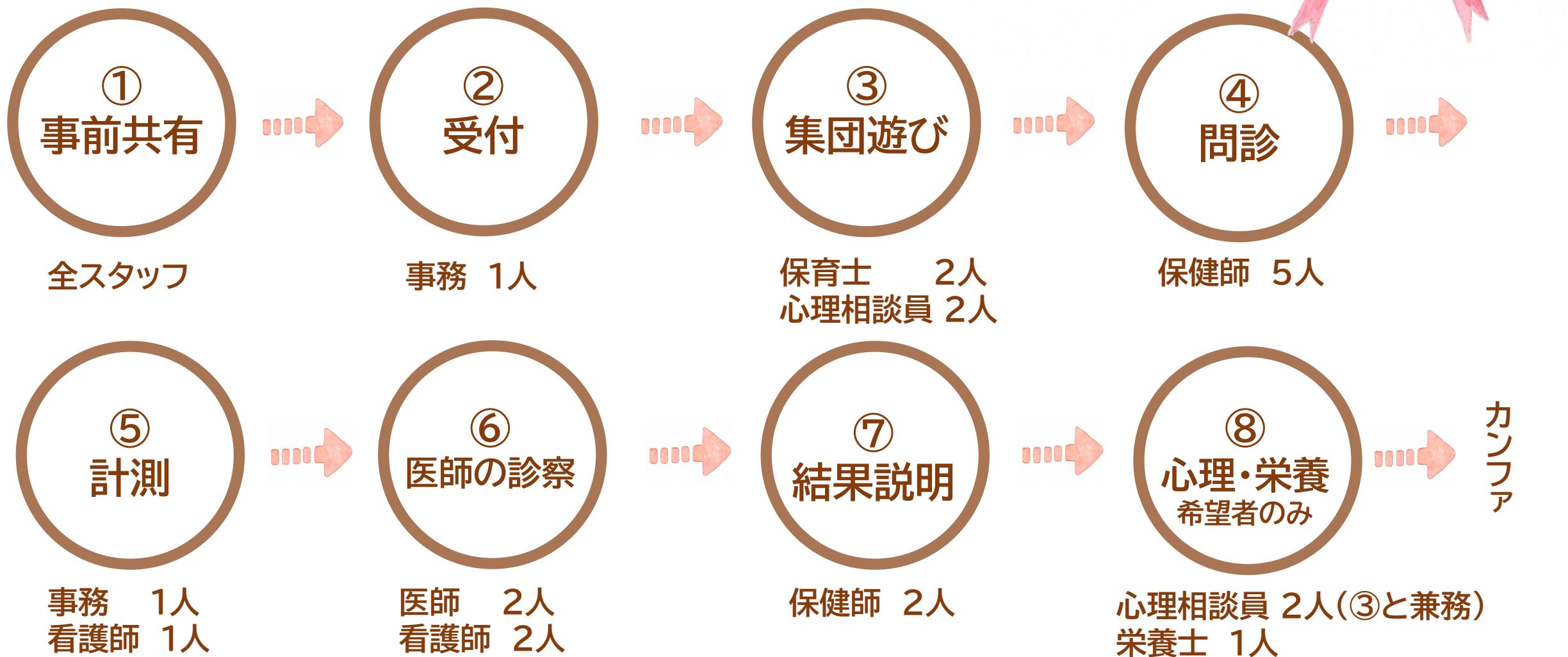
約150名 24%

5歳児健診より新たに要経過観察

約30名 4.5%



流れ・スタッフ



健診の内容について

小枝達也先生が「5歳児健診」2008版
の中で実施されている内容

+

こども家庭庁より示されたマニュアル



動作模倣 行動制御
協調運動 ルールの理解

③
集団遊び

保育士2人 心理相談員 2人

じゃんけん しりとり
会話一般 発音

④
問診

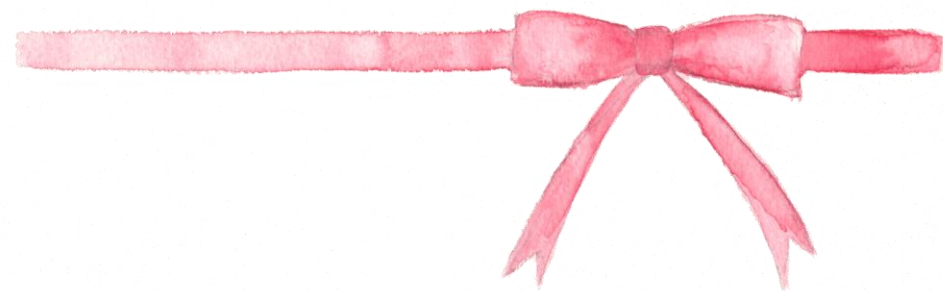
保健師 5人

協調運動 左右
会話一般 共感性

⑥
医師の診察

医師2人 看護師2人

健診の内容について



保健師 5人

SDQ(子どもの強さと困難さアンケート)の実施

子どもの情緒や行動についての25の質問項目を回答する形式の短いアンケート。

保護者が問診票の中で回答。事前に郵送し当日回収。

問診前に得点化し、Highneedに該当すればエピソードを聞き取り。

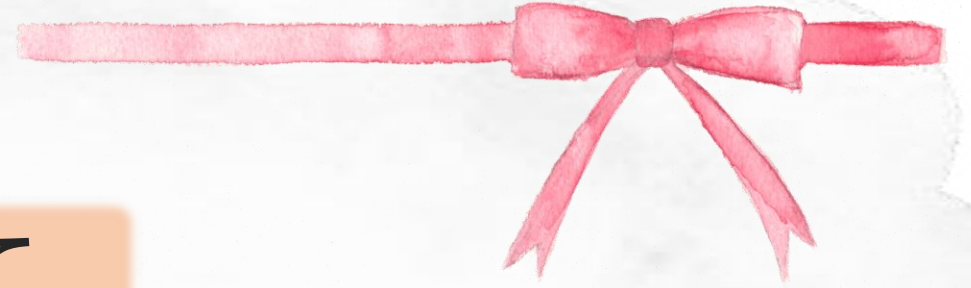
課題や困っていること①

健診開始まで

- ・開始までの準備
準備期間は3か月
マニュアル作成
関係機関への周知
- ・5歳児健診に関連する知識が不足している



課題や困っていること②



健診開始後 健診の運営について

- ・健康管理システムに入力欄がない
- ・1回あたりの受診者に幅がある(17名~49名)
- ・健診の所要時間が長い



課題や困っていること③

健診開始後 健診の内容について

- ・SDQの活用について
- ・情緒面の心配についての助言
- ・共感性を確認する質問について(カレーの質問)
- ・しりとり課題について



課題や困っていること④



健診開始後 健診後の支援

- ・心理相談員による発達検査の予約枠がいっぱいで4か月待ち
- ・健診後に支援が必要なケースが思っていた以上に多く、保健師の業務負担増



ご清聴ありがとうございました

